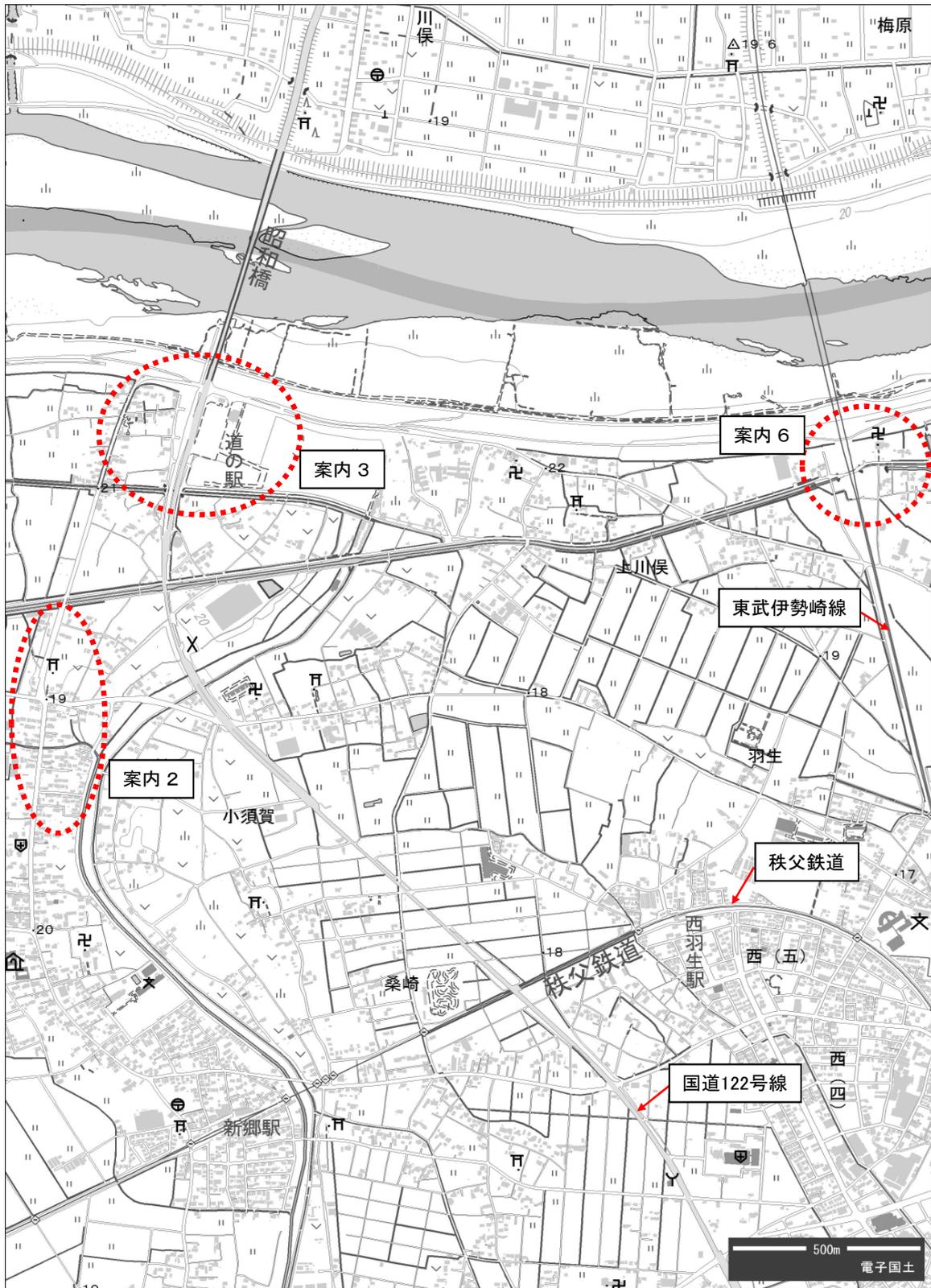


羽生



案内図

 調査範囲

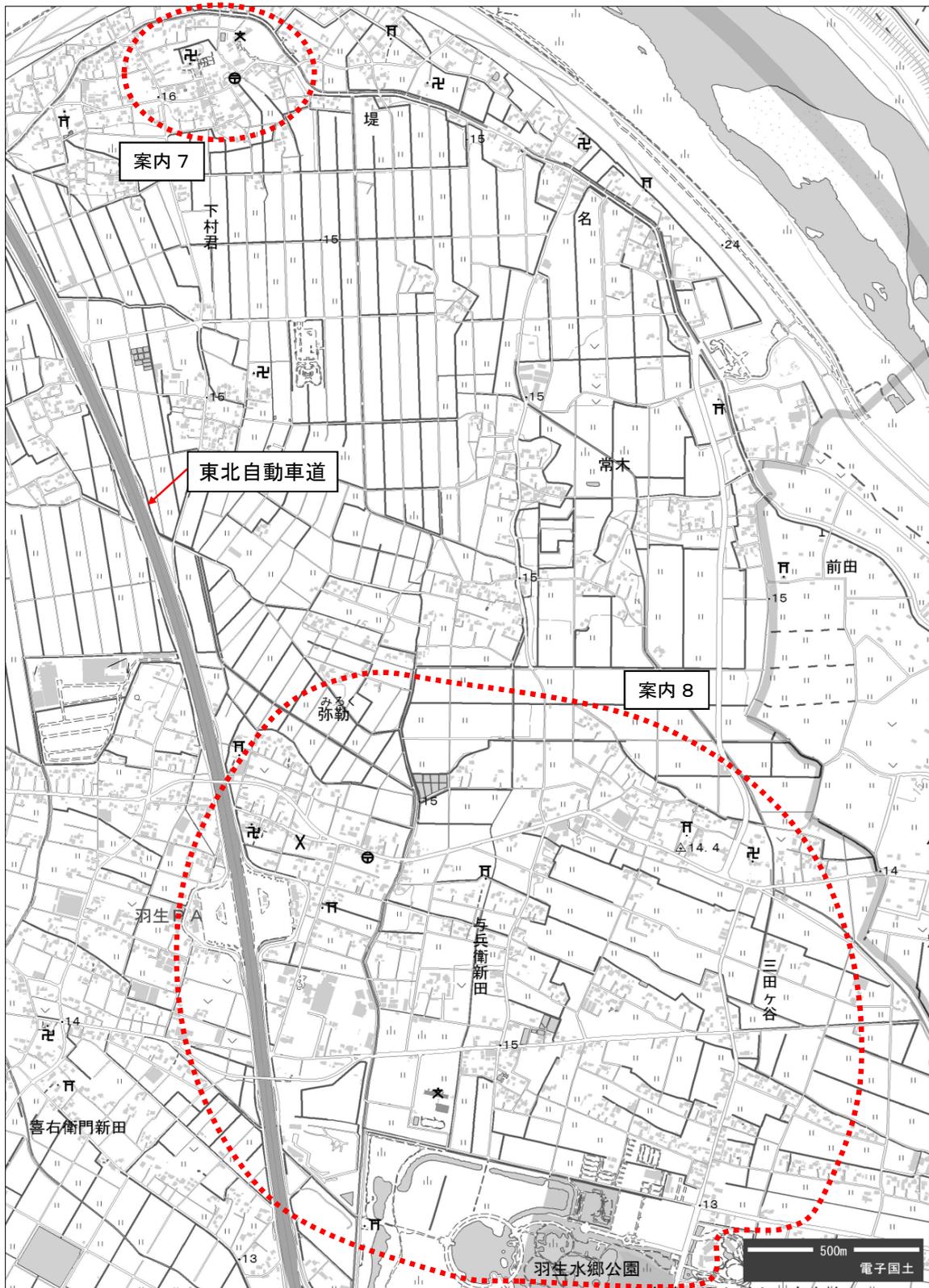
羽生



案内図

 調査範囲

羽生



案内図

 調査範囲

羽生



案内図

 調査範囲

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等

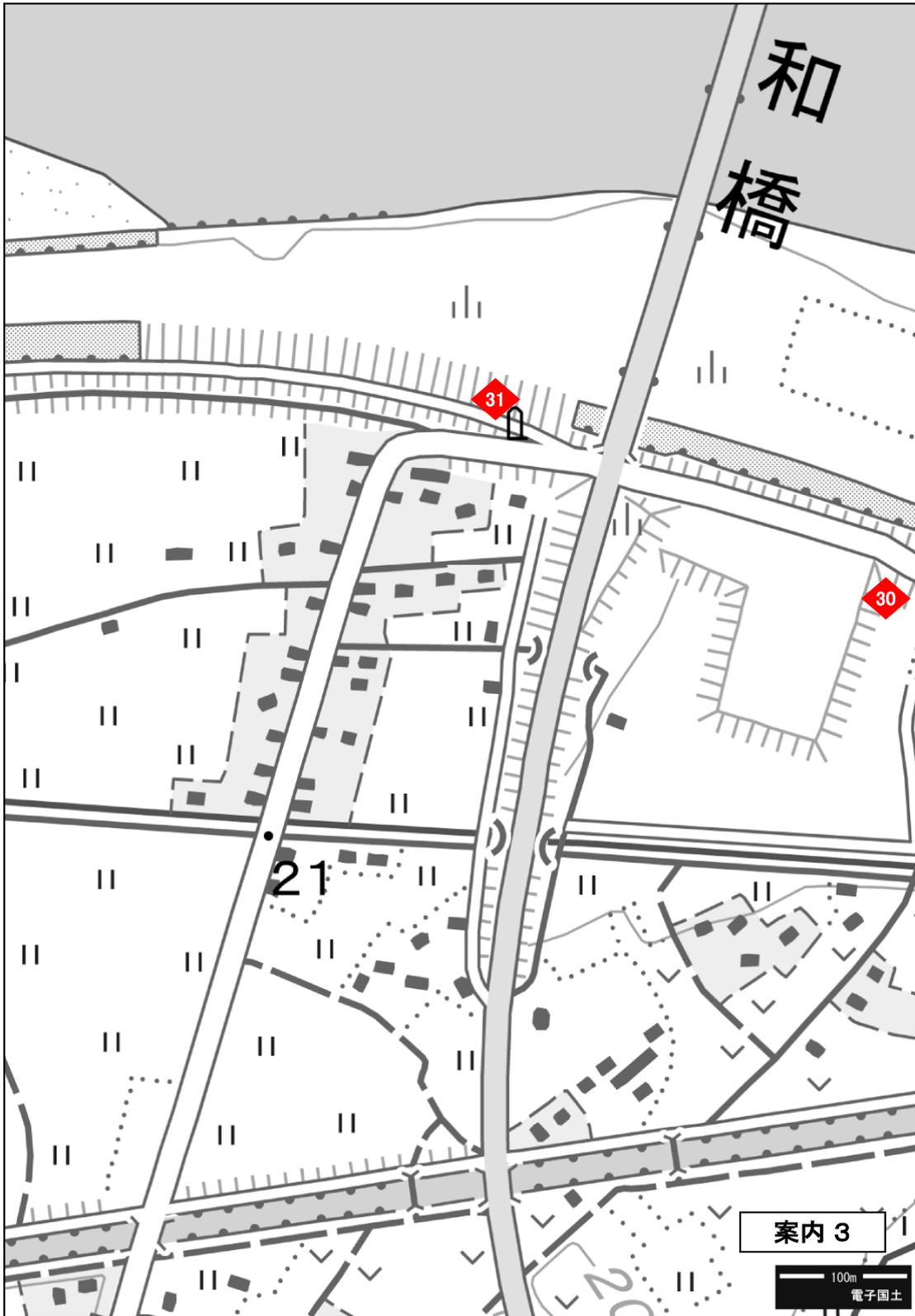


その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等

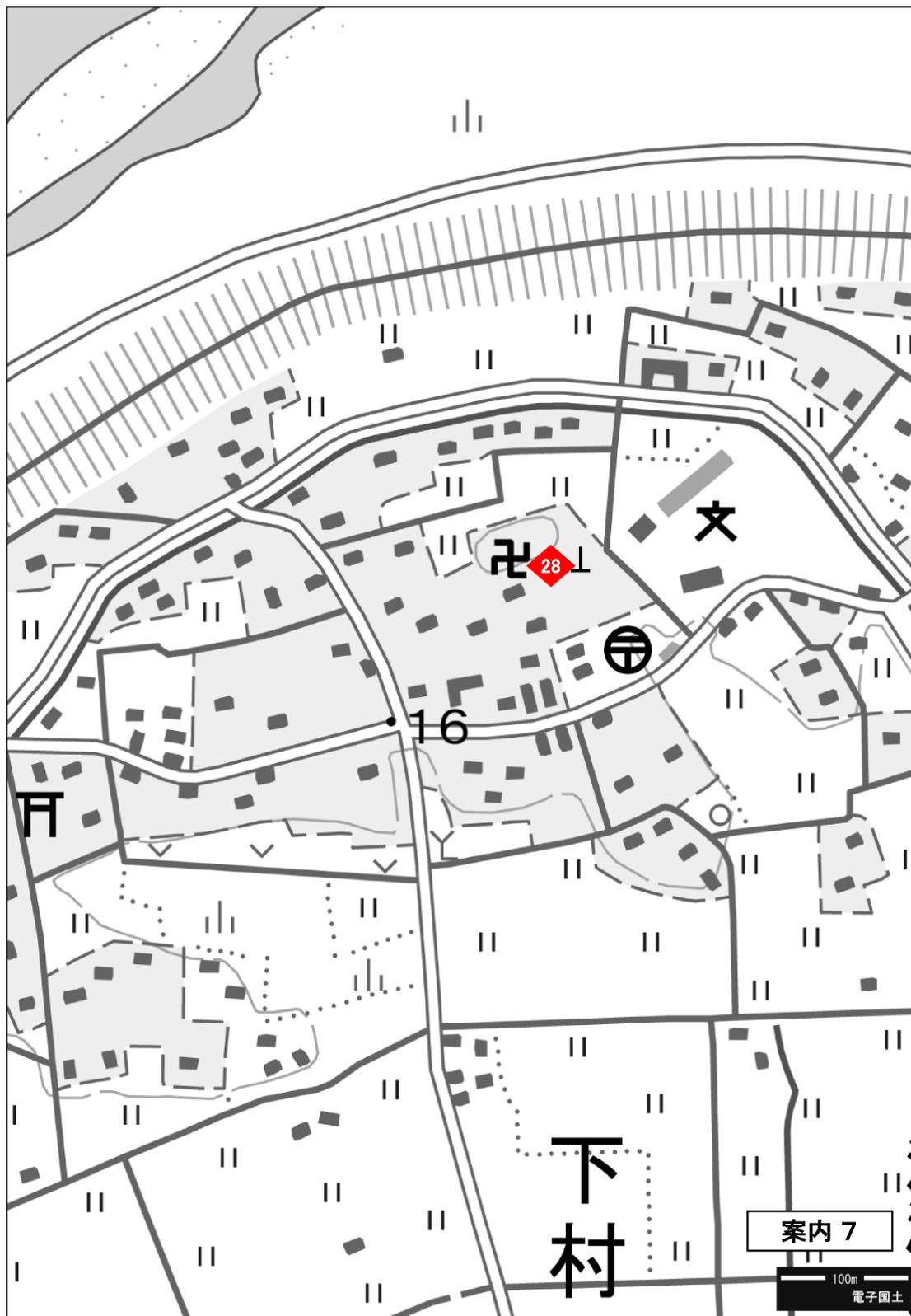


その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例

-  史跡・寺社等
-  その他の建造物
-  通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



凡例



史跡・寺社等



その他の建造物



通り・広場・樹木他

羽生



羽生城址のある辺りはかつて、利根川が分流しその河川の流れも氾濫のたびに変わる水郷地帯であった。水利がよく土地も肥えていたことで、早くから農耕文化が盛栄えた土地で、古い塚や古墳、出土した多くの埴輪はそのことを証明している。このため「羽生」の地名は「埴輪」から転化したものといわれている。江戸時代から明治にかけては青緞などに代表される武州藍染などの繊維業で栄え、街には今でも繊維業の工場や店が残っている。

1

抜け道小路



羽生の街の魅力として、『小路』が取り上げられる。羽生駅からの抜け道小路はほどよい狭さの道幅で風も身も吹き抜ける感じがする。

2

街並み



羽生のイメージキャラクター・ムジナものかわいい焼印がおされたお菓子が人気のあま太郎や、ヤマハ羽生センターの建物が並ぶ商店街は昔懐かしい雰囲気でも親しみやすい。

3

蔵



商店街がぱっと開けた交差点にどんと建っているのでひときわ目を引く。長く使われてきた大きな蔵は片側に深い庇を有している。

4

火の見櫓



蔵の対角線上に目を向けると、お地蔵様の頭上高くにそびえる火の見櫓がある。町の中心部の交差点に立つやぐらの風景は、これからもずっと残っていてほしい光景である。

5

店舗



壁面に張られた殺虫剤のメーカー看板が目を引く。

6

店舗



商店街の中に、広い敷地に木造の門構えの住宅や、奥行き長い蔵が立ち並ぶ商店がある。突き当りには工場と思われる木造建築がある。

7	毘沙門堂	8	銭湯	9	店舗
			<p>鎌倉時代の建長8年(1256)に、北条時頼が創建したとされる。毘沙門塚と呼ばれる前方後円の古墳の上に建てられている。</p>	<p>毘沙門塚の脇の小路を入るとまっすぐに立つ煙突が見える。市民に愛される羽生で唯一の銭湯。</p>	<p>店舗の横には、板張りの壁が趣を感じさせる建物がある。</p>
10	隠れ家小路	11	建福寺と田舎教師の墓	12	工場
			<p>料亭、旅館、飲み処や民家が密集する界隈を横断するひっそりとした小路。先の見えない道は、どこにつながっているのかと興味がわいてくる。</p>	<p>田舎教師のモデルとなった小林秀三はこの寺に下宿しながら代用教員として弥勒高等学校までの6kmの田舎道を通った。当時の本堂が今でも境内に残されている。彼はこの寺に眠っている。</p>	<p>元町はなみずき通りを南下すると大きな煙突が出現。広い敷地に大小の蔵と木造の工場、事務所棟などが悠然と建ち並んでいる。</p>
13	架け橋小路	14	お散歩小路	15	写真館
			<p>プラザ通りと八雲神社を介する架け橋のような小路。細く、鳥居をイメージした赤い枠組みは行く者を誘い導く小路のアクセント。</p>	<p>羽生の街を南北に流れる大きなプラザ通りと平行に、お散歩小路と呼ばれる道が通っている。静かで目を刺すものは何も無く、おばあちゃんと猫が似合う通りには、石造りの蔵や趣がある民家がひっそりと佇む。</p>	<p>薄黄色の外壁と、とんがり屋根がかわいらしいデザインの写真館。この場所で、移り変わる街と人々を映してきたのだろう。</p>

16	板塀の通り	17	RC造りの蔵	18	店舗
			<p>この場所で生まれた清水卯三郎は明治元年(1867)のパリ万博に民間人として始めて出席し、西洋文化を日本に広めた人物。 店の横に生誕の碑がある。</p>	<p>めずらしいRC造りの蔵。金具のデザインがかわいらしい。小路を歩き回って見つけた建物。</p>	<p>店の歴史を感じさせる木の看板と竹まい。二階の腰部分にタイルが貼られた、洒落た意匠の木造建築はまだ現役。</p>
19	通見社跡	20	病院	21	店舗
			<p>明治時代、自由民権運動の県下初の政治結社、『通見社』を結成した堀越寛介は板垣退助が党首であった『自由党』の埼玉支部初代理事であった。</p>	<p>足利銀行隣の病院は、古き良き時代の木造家屋といった様相で味わい深い。</p>	<p>正面はきれいに補修された煉瓦造りの外装で、奥にむかってずっと長い店蔵。建物の側面に煉瓦造りの壁が立ち、墨色の壁面に映える。壁から屋根に掛けての白と黒のコントラストが美しい蔵だ。 現在は店舗として利用されている。</p>
22	蔵	23	城橋	24	病院
			<p>巴紋の施された大きな蔵と、その隣には小さな板張りの蔵。外壁の色合いが時間の経過を想わせる。</p>	<p>昭和33年から架かっている橋。石造りの大きな橋で、欄干には透かしの穴が開いている。</p>	<p>ルネッサンス様式を基調にした、大正時代頃の建築と思われる大きな木造建物。</p>

25	羽生城跡	26	田舎教師像と小学校跡	27	お種さん資料館
			<p>羽生城は天文年間中頃(1540年代)、古河公方(足利晴氏)の家臣によって築かれた。戦国の動乱を経て慶長19(1614)年、徳川家康によって廃城となり、その址碑が天満宮内に残る。</p>	<p>『田舎教師』の主人公、小林秀三のブロンズ像。羽織袴に烏打帽子をかぶり、風呂敷包みを持った姿は凛として見える。ほど近くには彼が教鞭を取った弥勒高等小学校跡の碑がある。</p>	<p>羽生市弥勒の円照寺境内に小説『田舎教師』に関するお種さん資料館がある。山門は釣鐘と鳥居のある鐘楼門で脇に建つ碑に扉をつけなかった理由などが刻まれている。</p>
28	永明寺	29	葛西用水取入口	30	川俣締切跡
			<p>6世紀中頃に造られたと考えられる前方後円墳の前方部には文殊堂、後円部には薬師堂があり、古墳そのものが寺の境内となっている。本堂横にある樹齢推定500年の大イチョウは見事な枝ぶり。</p>	<p>葛西用水路旧取入口跡地を整備した公園。江戸時代に作られた取入口が復元され、豊かな緑と池に囲まれた、地域住民の憩いの場となっている。</p>	<p>文禄3(1594)年に徳川家康の命により会の川筋を締め切る工事を行い、それまで分流していた利根川の主流を締めて、流路を変えた。</p>
31	川俣関所跡	32	勘兵衛松	33	上新郷シイの木
			<p>慶長の年に設けられ、江戸と両毛を結ぶ要衝として嚴重な取締りが行われた。江戸に人質となっている諸大名の奥方の脱出を防ぎ、また、江戸の安全のために銃砲の取り締まりも行われた。</p>	<p>寛永5(1628)年徳川家光が日光社参の折、忍城主が家臣の勘兵衛に植えさせたものといわれる。明治8年には69本あったが現在は1本のみ。他の松は後年に植えられたもの。</p>	<p>市指定天然記念物。本陣を勤めた須永家のシイの木は2株の大木が南北に並び、立派な姿。樹齢推定400年の巨木の中心部は空洞化し、コケやノキシノブが生え、長い歴史を物語っている。</p>

34	羽生水郷PARK	35 -1 藍染めの老舗	
			
<p>東北自動車道羽生ICのすぐ東側にある公園。広い園内の宝蔵寺池は国内唯一のムジナモの自生地として知られる。整備された園内は豊富な木々に囲まれ、市民の憩いの場として親しまれている。</p>	<p>江戸時代の天保8(1837)年から続く藍染の老舗。敷地内には資料館があり、武州正藍染の貴重な資料や作業工程を見ることができるほか、要予約で藍染体験もできる。</p>		
35	-2 藍染めの老舗		
			
<p>重厚な門は武州正藍染の伝統ともに長い歴史を持ちここに建っている。</p>			